

12 法人経営体（組織経営）の収益性（全国）

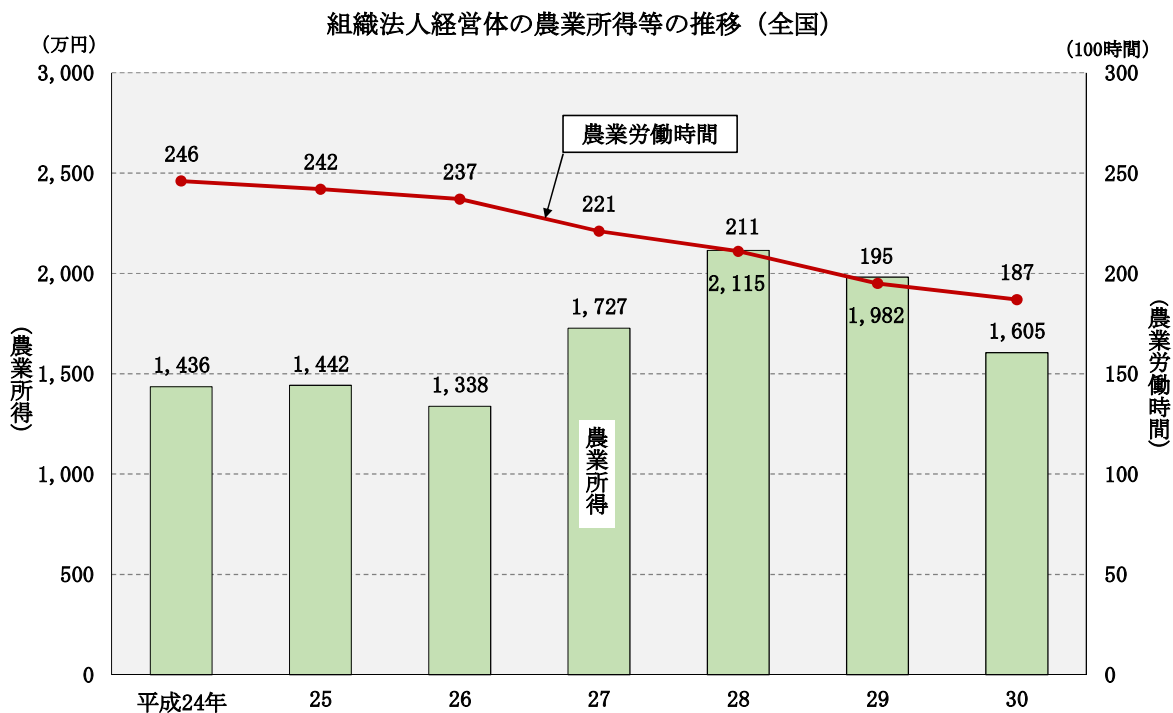
（1）1経営体当たり農業所得

○組織法人経営体は畜産経営の割合が高いことから、平成27年及び28年は肉畜価格の上昇により1経営体当たり農業所得は増加し、所得率も向上。

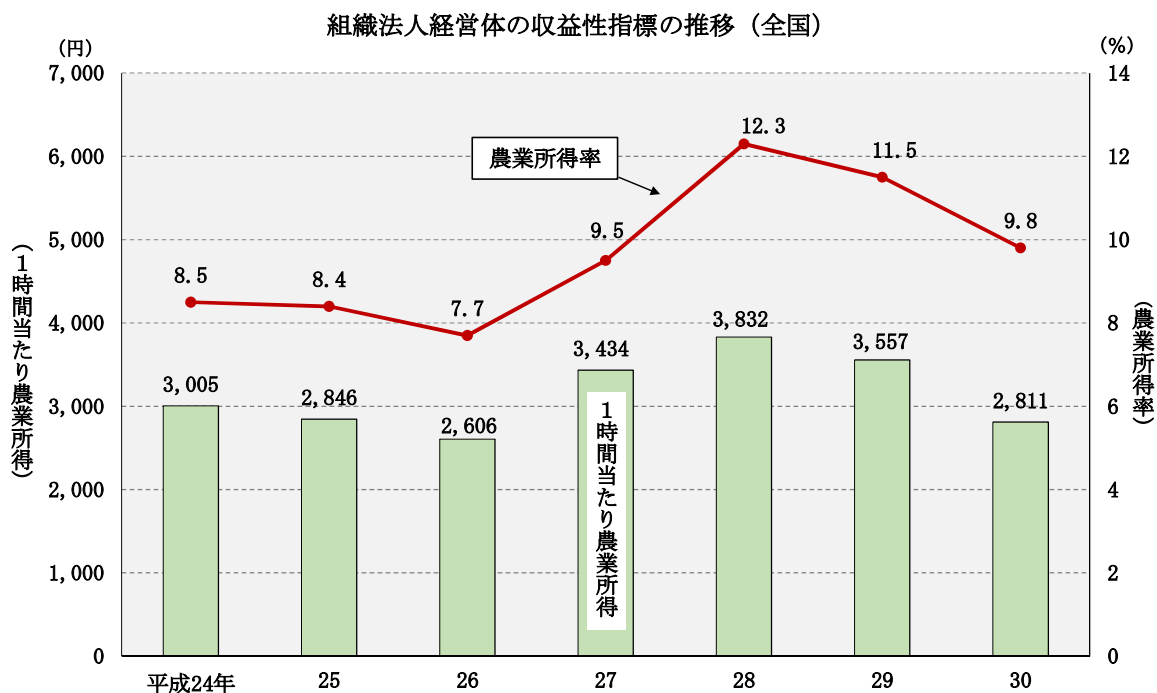
（参考）畜産部門が1位の経営体数割合（2015年農林業センサス）

全農業経営体＝4.8%、組織法人経営体＝22.6%

○平成29年以降は肉畜価格が低下したため、農業所得は減少し、所得率も低下。



資料：農業経営統計調査（経営形態別経営統計）



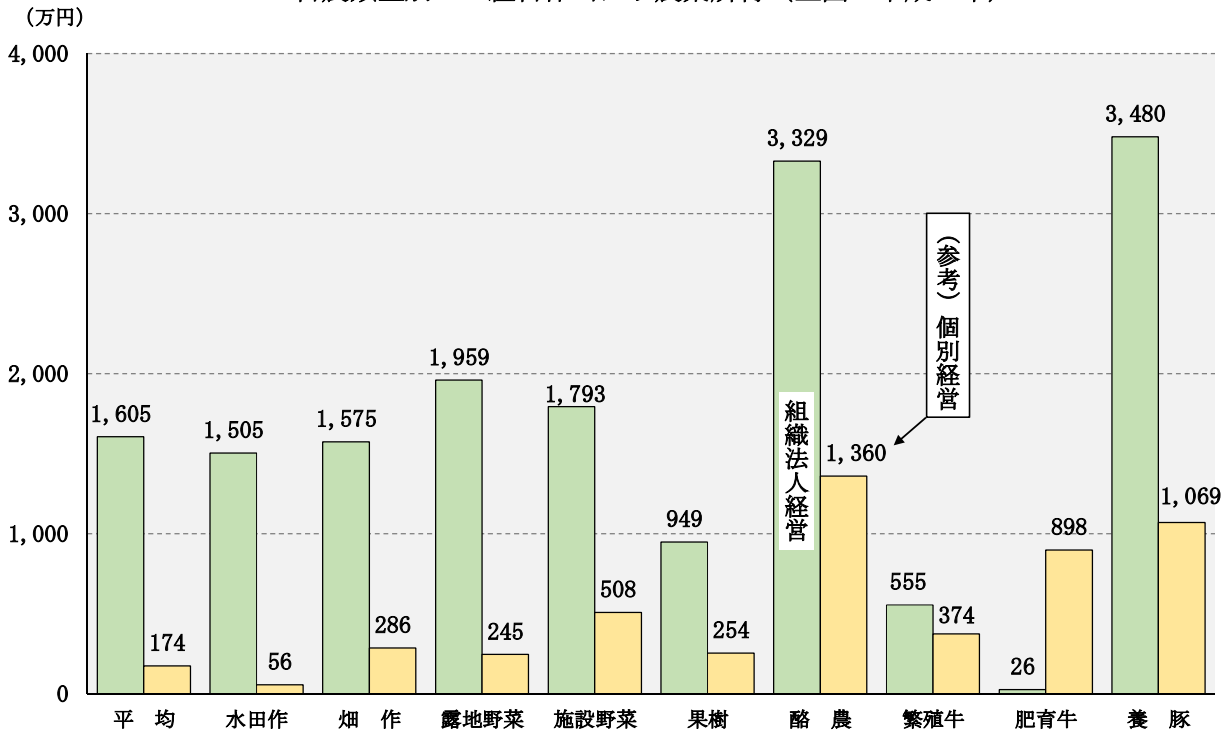
資料：農業経営統計調査（経営形態別経営統計）

12 法人経営体（組織経営）の収益性（全国）

（2）営農類型別の農業所得

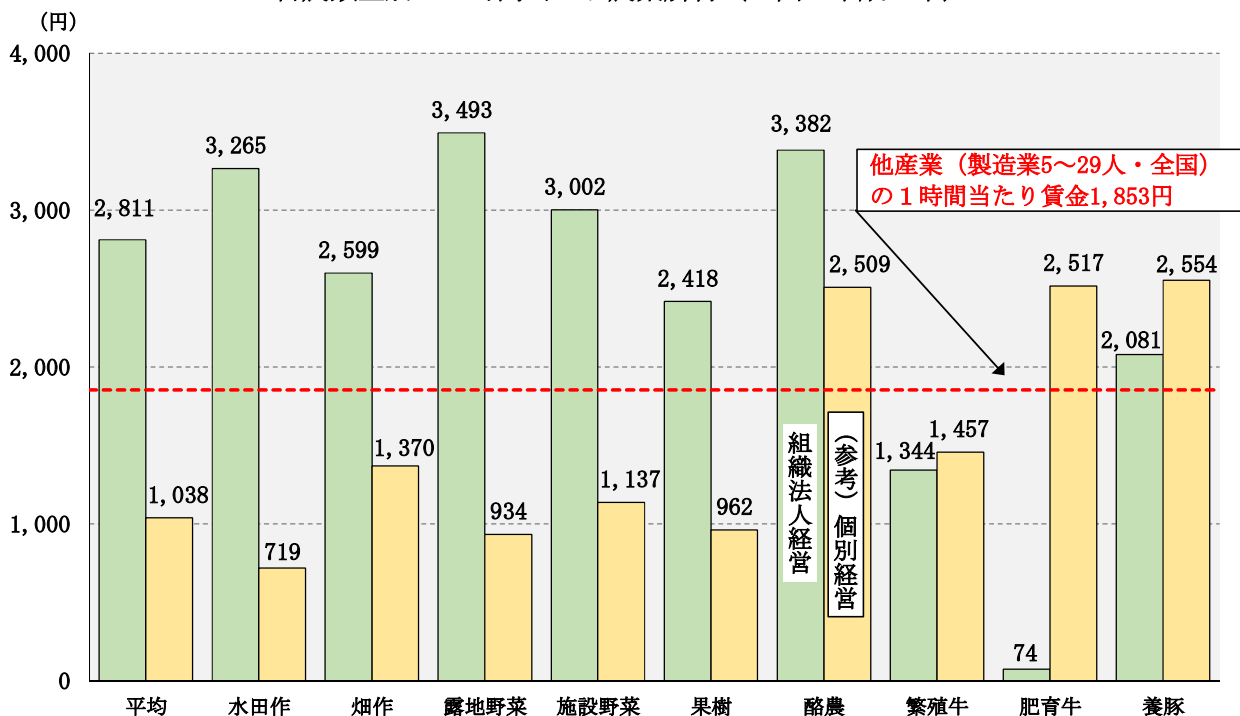
- 1 経営体当たり農業所得は養豚経営が最も高く、次いで酪農経営、露地野菜の順。
- 農業労働 1 時間当たりの農業所得は、繁殖牛経営を除き他産業従事者の賃金水準を上回っている。

営農類型別の 1 経営体当たり農業所得（全国・平成30年）



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）

営農類型別の 1 時間当たり農業所得（全国・平成30年）



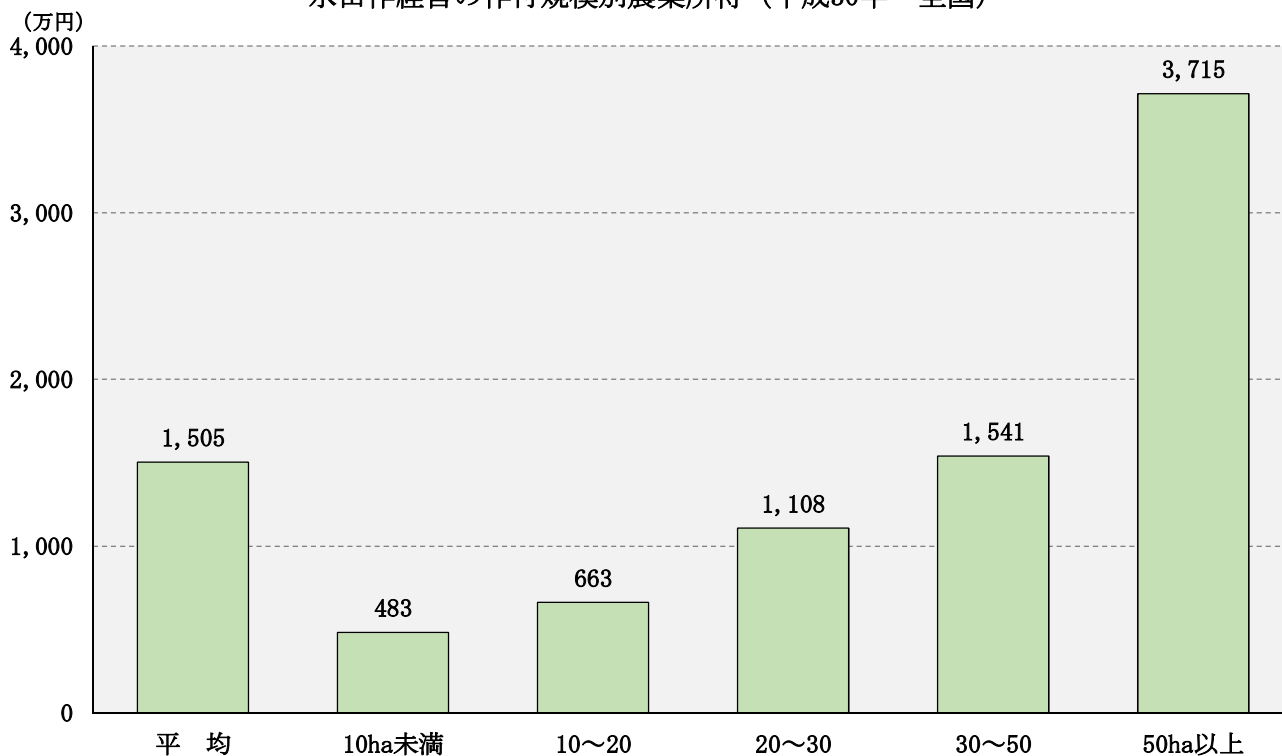
資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）、厚生労働省「毎月勤労統計」（H30）

12 法人経営体（組織経営）の収益性（全国）

（3）水田作経営の規模別農業所得

- 50ha以上の農業所得は約3,700万円。
- 水田作組織法人経営の平均作付規模は、個別経営の約20倍。
- スケールメリットの発現により10a当たり農業所得は個別経営を大きく上回る。

水田作経営の作付規模別農業所得（平成30年・全国）



資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）

水田作規模別10a当たり農業所得等（平成30年・全国）

	単位	平均	10ha未満	10~20	20~30	30~50	50ha以上	(参考) 個別経営平均
水田作営農規模	a	3,594.3	614.0	1,496.9	2,506.5	3,936.2	9,380.9	183.0
水稲作付割合	%	57.5	85.8	66.6	66.3	67.0	48.4	83.4
水田利用率（作付率）	%	97.7	73.5	80.9	87.9	98.4	105.9	85.0
水田作10a当たり所得	千円	41.9 (100)	78.7 (188)	44.3 (106)	44.2 (105)	39.1 (93)	39.6 (95)	30.4 (73)
粗収益	千円	137.5 (100)	296.0 (215)	157.8 (115)	156.6 (114)	142.0 (103)	117.7 (86)	144.8 (105)
経営費	千円	95.7 (100)	217.3 (227)	113.5 (119)	112.4 (117)	102.9 (108)	78.1 (82)	114.4 (120)

資料：農業経営統計調査（営農類型別経営統計）

注：所得、粗収益及び経営費欄の（ ）内の数値は、組織法人平均を100としたときの比率。